

# 営業体制を強化

## 東海セキュリティー

名古屋経済

警備保障業の東海セキュリティー(本社名古屋市中区白壁三ノ二四ノ五八、黄元圭社長、電話052・932・5454)は、営業体制を強化する。来年度に、豊田市内と名古屋市内に拠点を新設し、収益の柱である高速道路の車線規制に伴う警備業務を広域展開する。警備員の作業手順を標準化したことで業務の拡大が見込めると判断した。拠点拡充により、三年後の売上高を前期比倍増の十億円達成を目指す。

## 県内に2拠点新設

### ISO取得で作業標準化

同社は、一九九三年の設立。二〇〇三年七月期の売上高は、約五億円。高速道路車線規制に伴う警備と、保守点検業務に伴う列車見張り、売上の八割を占める。営業拠点の新設は、伊勢湾岸自動車道が豊田市内へ延伸されたことにより、仕事量の増大が見込まれる豊田市内と、愛知県内の大半の東名高速道路と東名阪自動車道の管理を担当している、日本道路公団名古屋管理事務所がある、名古屋市名東区に二カ所を想定している。



寮併設の東海セキュリティー本社



黄元圭社長

新設拠点にはそれぞれ、営業担当のほか、警備員三十人以上を配置する計画。寮なども完備する。二拠点の開設で、拠点は金山、七宝を合わせた四拠点となる。

同社は昨年十二月、警備員の作業手順を標準化するISO9001の認証を取得した。黄社長は「作業手順を標準化することで、営業所拡充のための布石が出来た」と話す。柱事業で収益を確保しながら、今後はパチンコホールやショッピング

センターなど、エンドユーザー向け保安業務に人的資源を振り向ける考え。